

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第2区分
 【発行日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【公表番号】特表2007-509752(P2007-509752A)
 【公表日】平成19年4月19日(2007.4.19)
 【年通号数】公開・登録公報2007-015
 【出願番号】特願2006-536133(P2006-536133)
 【国際特許分類】

B 2 2 D 11/115 (2006.01)

B 2 2 D 27/02 (2006.01)

【F I】

B 2 2 D 11/115 F

B 2 2 D 27/02 W

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年4月6日(2011.4.6)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0055

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0055】

有利には、これらインダクタは、各インダクタが、鑄造スラブ6の半分の幅の1/2よりわずかに短い長さを有する、流動対流分岐(11aあるいは11b)内に移動磁界を発生するように構成される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0058

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0058】

図8は、本発明の好ましい実施形態を示す。これは、上側の再循環ロープL1およびL4の上側縁部(鑄造ジェット7および7'を強化する)を、流動対流ゾーンに変換するからなる。これを行うために、攪拌交差部9を生成するために、水平方向に移動する磁界を発生する2つの追加の直線インダクタ16、17を、二次冷却ゾーン内に既に存在するペアのインダクタに加える。これら2つのインダクタは、放出口5および5'から放出される金属ジェット7および7'と同一レベルにおいて、ノズル4の両側の同一線上に配置され、ノズルから鑄型1の狭い面3、3'に向かって前記ジェットと並流して移動させる。このようにして、ジェットと底部から上昇する中心流れとの間で集まる効果は、このようにさらに強化され、その結果、鑄型内の局所的「ダブルロール」モードも同様に強化される。